

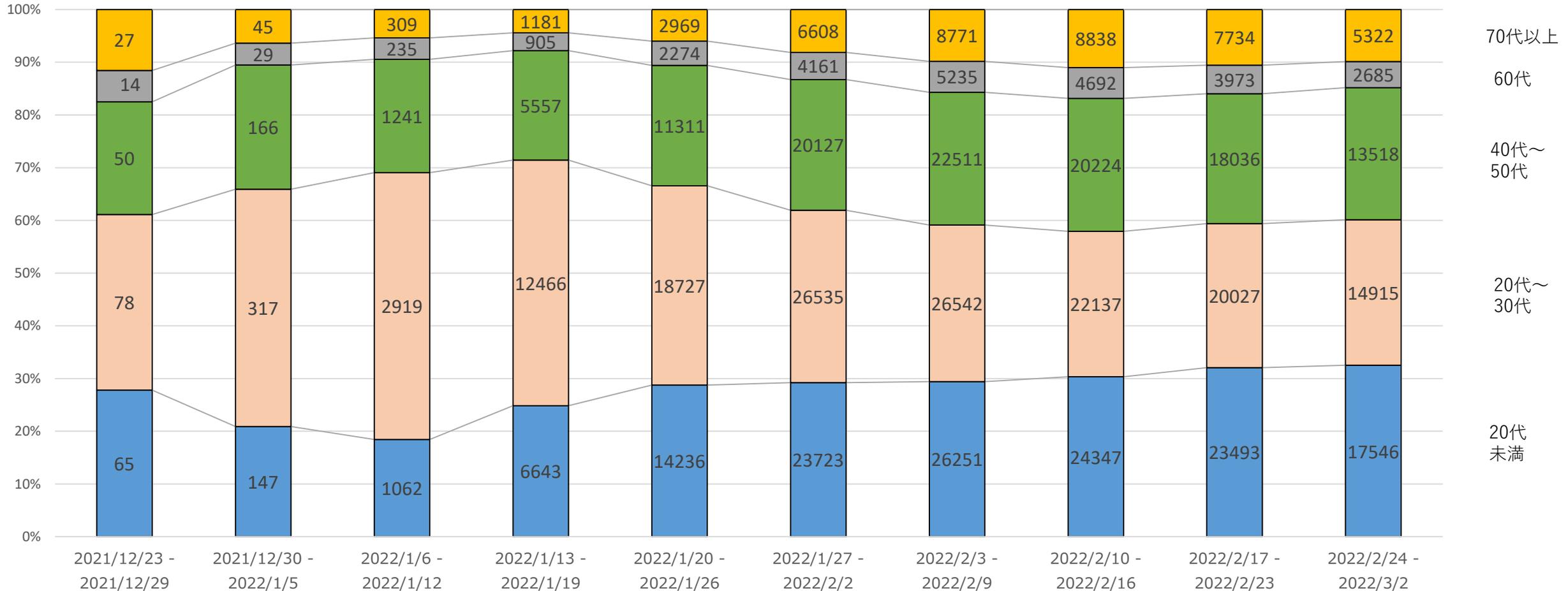
- 1 新規陽性者・入院患者等に占める高齢者の割合 P 2 ~12
- 2 高齢者施設等のクラスターの状況 P13~18

# 1 新規陽性者・入院患者等に占める 高齢者の割合

# 年代別新規陽性者数の推移

◆ 70代以上が新規陽性者数に占める割合は依然、1割を占める。また、2月中旬以降、20代未満がやや増加傾向。

陽性者の年齢区分（割合，1週間単位）

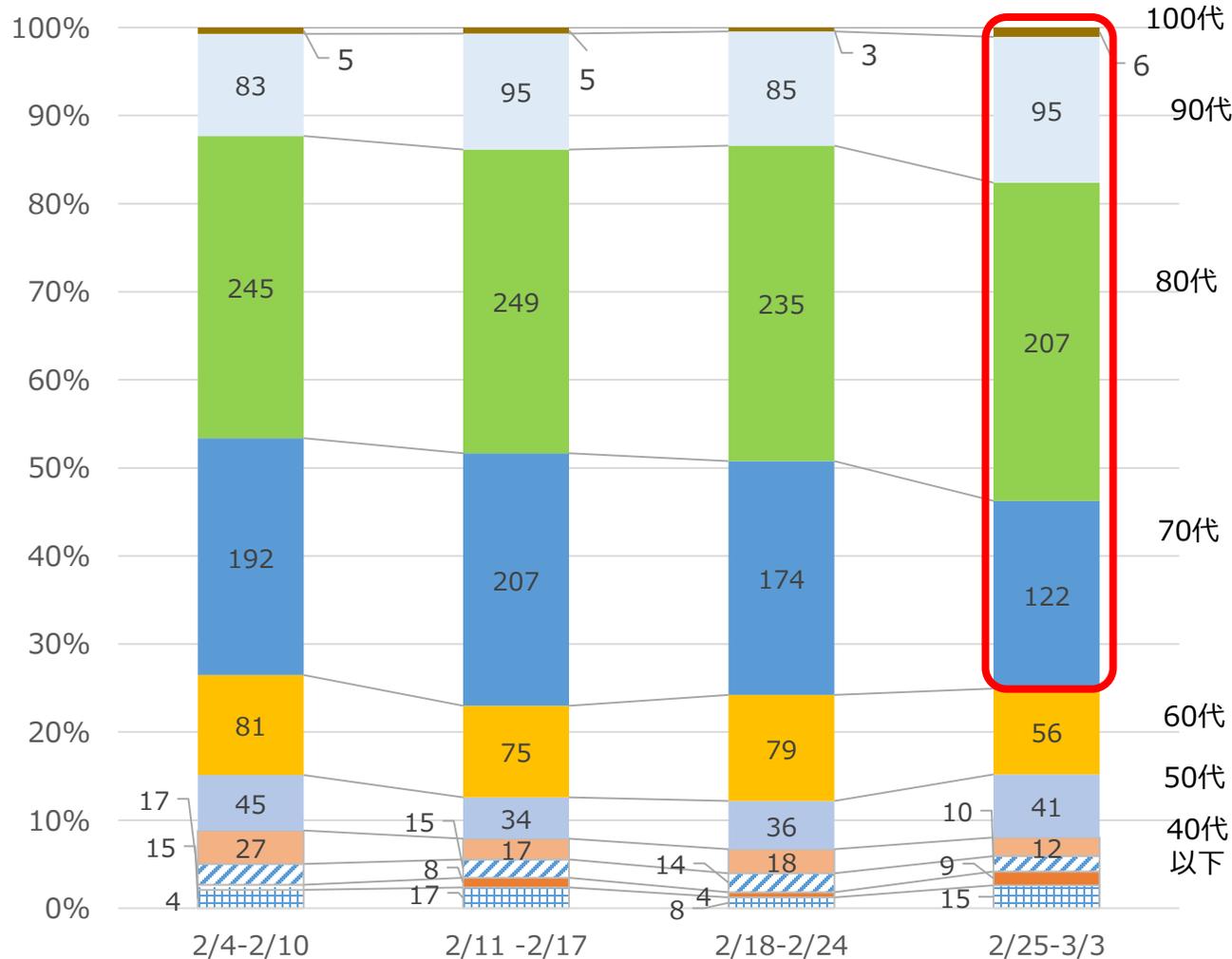


※調査中1,006件を除く

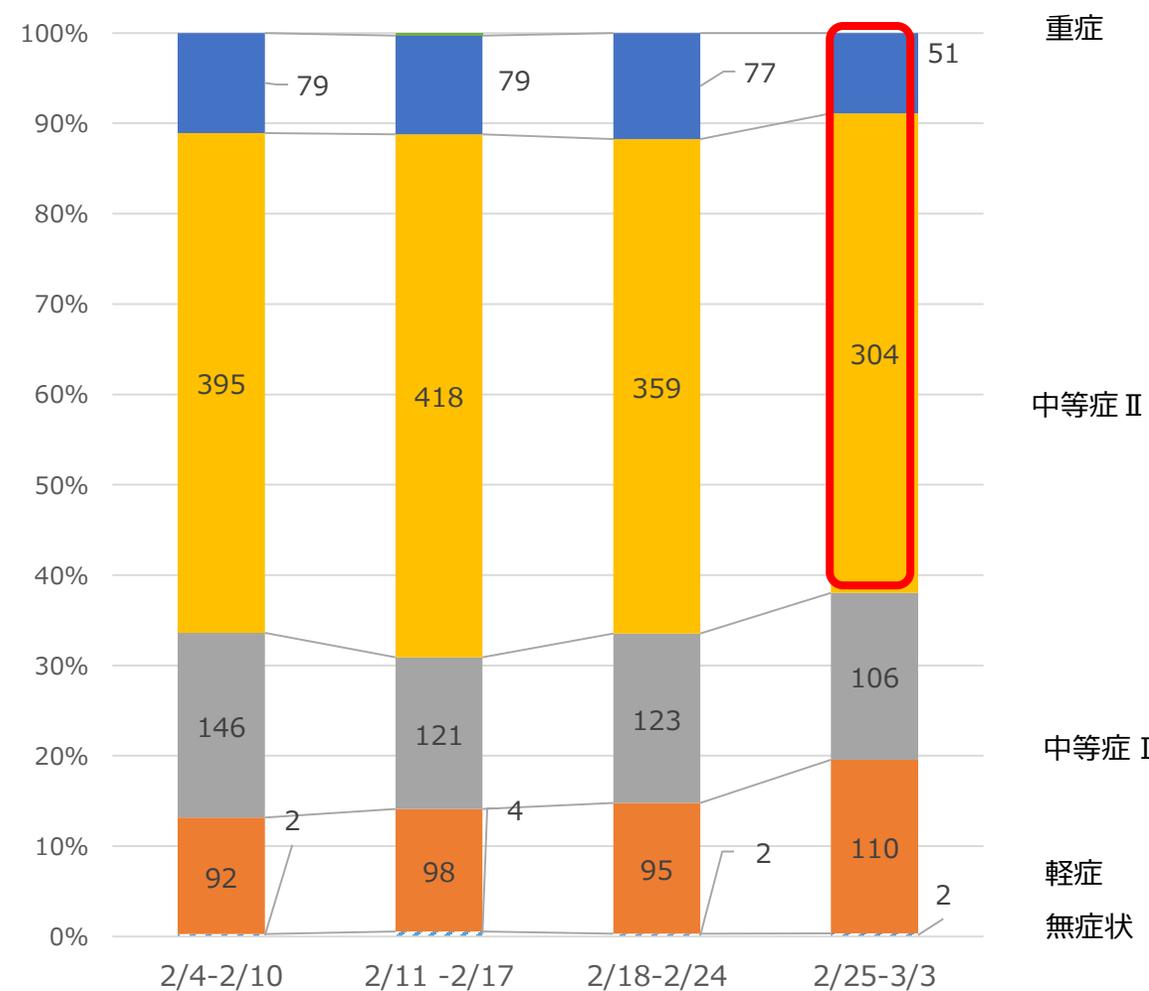
# 入院調整時の入院患者の年代割合や症状

- ◆ 入院調整時の入院患者の直近1週間の年代割合は、70代以上が約75%を占めている。
- ◆ 症状としては、中等症Ⅱ以上が6割強を占めている。

入院調整時の入院患者の年代別割合（2/4～3/3）



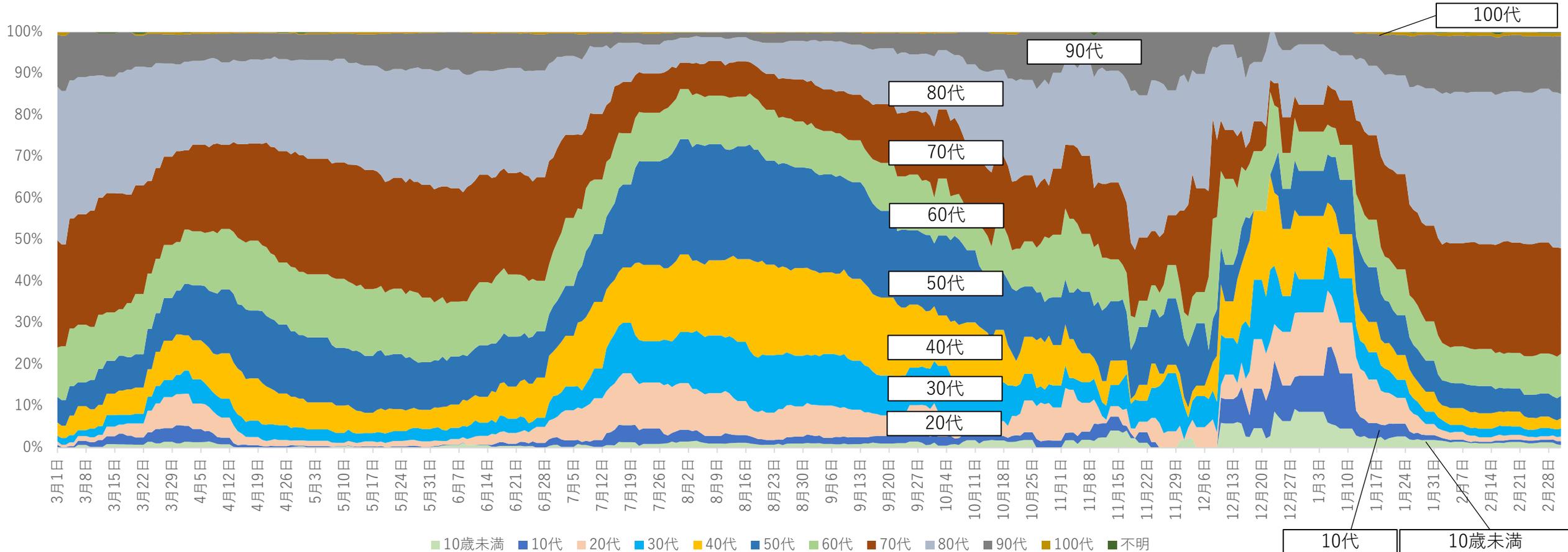
入院調整時の入院患者の症状（2/4～3/3）



※症状は入院調整時の患者の症状であり、入院後に症状が変化している可能性がある。※「大阪府療養者情報システム（O-CIS）」のデータに基づく。

# 軽症中等症受入医療機関における入院患者数の年代別割合（3月3日時点）

◆ 3月3日時点で、60代以上は87.4%、うち70代以上は約8割。



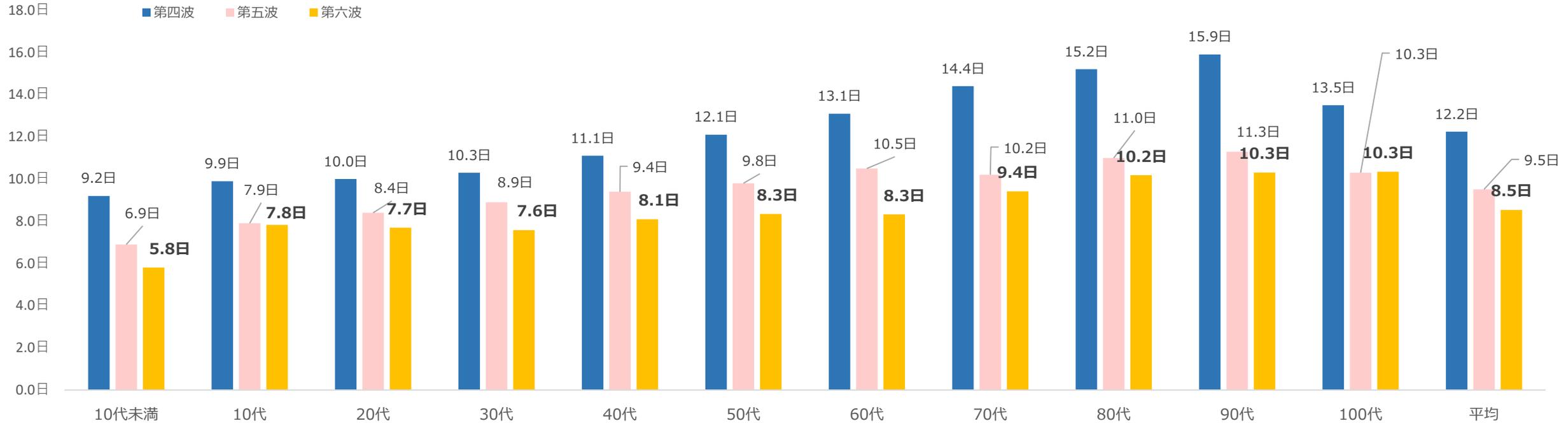
	第四波(5/12)	第五波(9/2)	3/3
60代未満	23.3%	66.3%	12.5%
60代以上	76.7%	33.7%	87.4%
(うち、70代以上)	(60.4%)	(23.0%)	<b>(77.2%)</b>

※ 1月5日に患者の全員入院対応、1月7日に入院・宿泊療養対象を見直し

第四波、第五波は、最低入院率となった日

# 第四波～第六波 軽症中等症病床における入院患者の平均入院日数（令和4年2月24日時点）

◆ 軽症中等症病床における入院患者の平均入院日数は、第四波、第五波よりは短いですが、2月10日時点と比べると、全体的にやや長くなり、特に70代以上の日数が長くなっている。



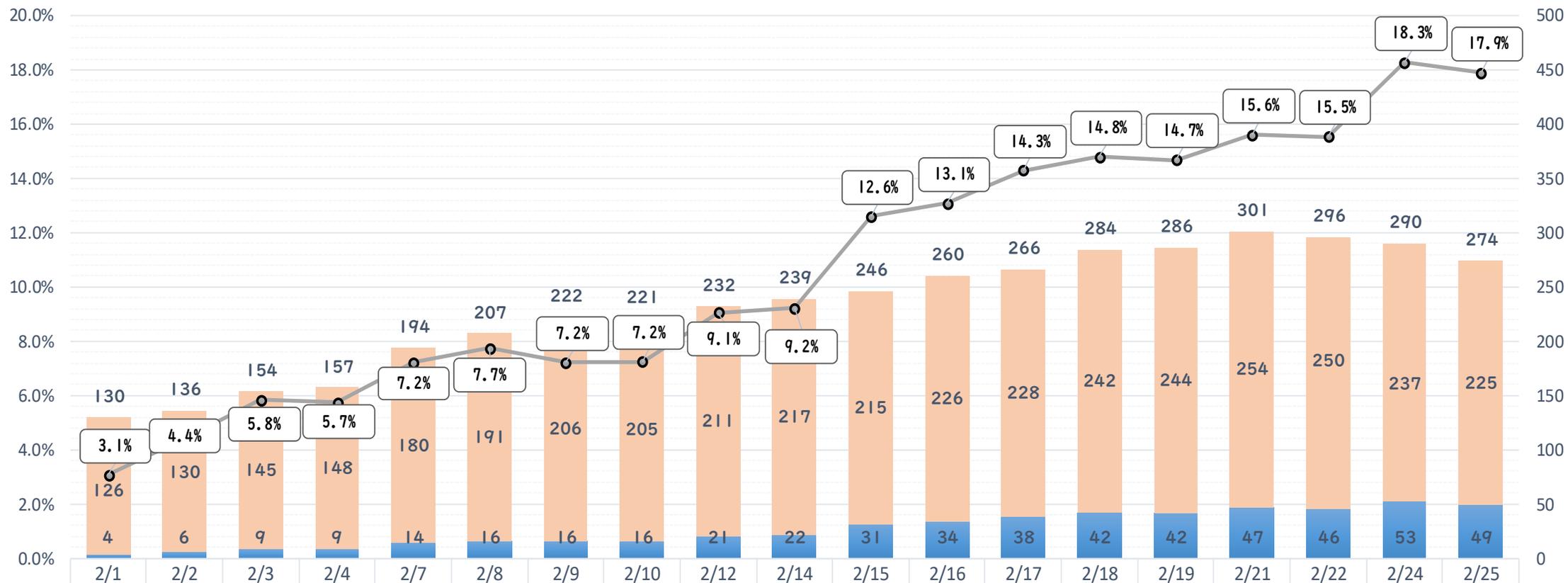
## 【第六波の軽症中等症病床における入院患者の平均入院日数】

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	平均
2/10時点	5.9日	8.1日	7.5日	7.4日	7.5日	7.8日	8.0日	8.4日	9.1日	9.4日	9.6日	8.1日
2/24時点	5.8日	7.8日	7.7日	7.6日	8.1日	8.3日	8.3日	9.4日	10.2日	10.3日	10.3日	8.5日

※第四波は、R3.3.1～3.6.20の間に陽性が判明した患者で退院済の者を計上 ※第五波は、R3.6.21～3.9.15の間に陽性が判明した患者で退院済の者を計上  
 ※第六波は、R3.12.17～R4.2.24の間に陽性が判明した患者で退院済の者を計上  
 ※陽性判明日が不明の患者は除く

# 重症病床における長期入院患者の状況（15日以上の入院患者の推移）

◆ 重症病床総入院患者に占める15日以上の長期入院患者の割合は日々増加しており、2月25日に約18%。

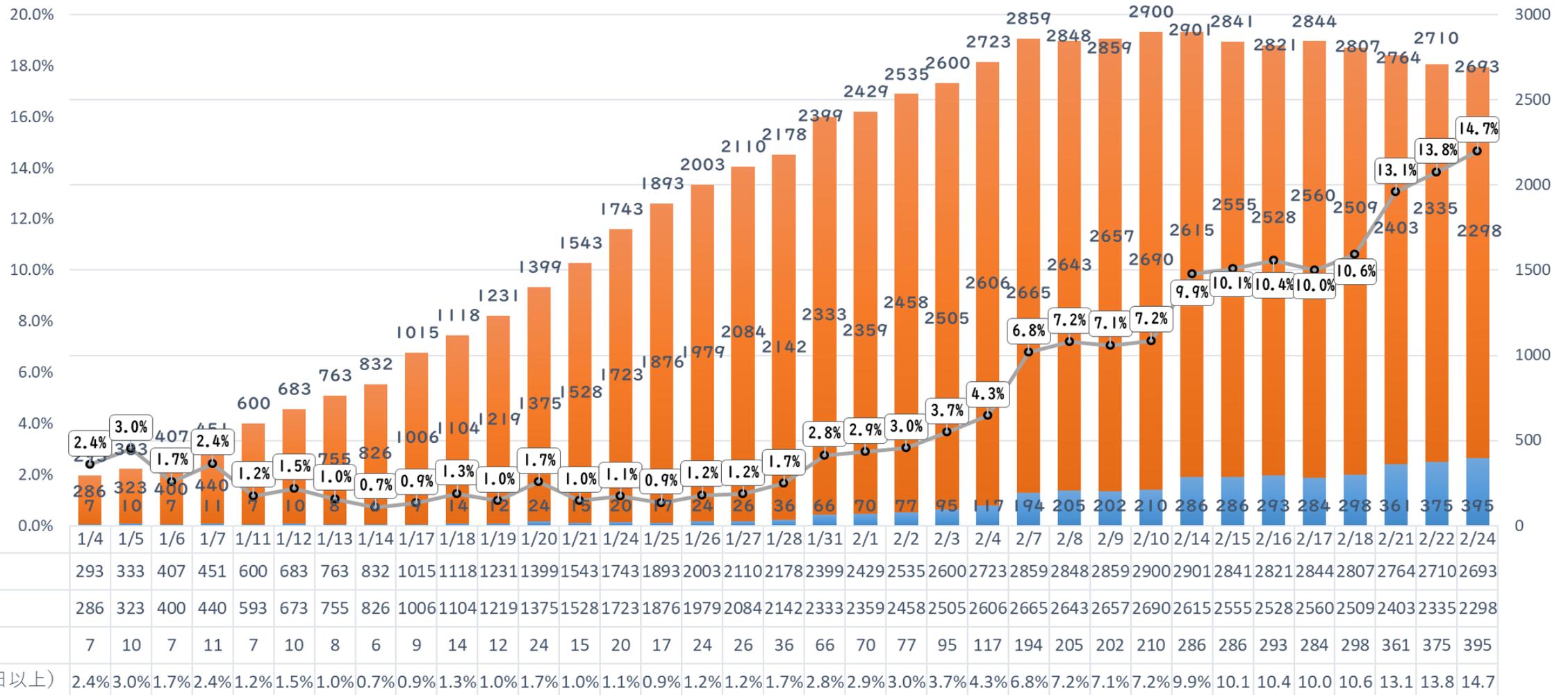


入院者数	130	136	154	157	194	207	222	221	232	239	246	260	266	284	286	301	296	290	274
14日以内	126	130	145	148	180	191	206	205	211	217	215	226	228	242	244	254	250	237	225
15日以上	4	6	9	9	14	16	16	16	21	22	31	34	38	42	42	47	46	53	49
割合（15日以上）	3.1%	4.4%	5.8%	5.7%	7.2%	7.7%	7.2%	7.2%	9.1%	9.2%	12.6%	13.1%	14.3%	14.8%	14.7%	15.6%	15.5%	18.3%	17.9%

出典：転退院サポートセンターヒアリング結果  
※入院日数は、重症病状での滞在期間をカウント

# 軽症・中等症病床における長期入院患者の状況（15日以上入院患者の推移）

◆ 軽症中等症病床の総入院患者に占める15以上の長期入院患者の割合は日々増加しており、2月24日時点では14.7%。



※ 第四波期間中（3/1～6/20）  
長期入院患者の平均割合：22.5%

※ 第五波期間中（6/21～9/16時点）  
長期入院患者の平均割合：8.8%

出典：転退院サポートセンターヒアリング結果

# 転退院サポートセンターの運用状況

- ◆ 昨年6月に設置した「大阪府転退院サポートセンター」において後方支援病院の確保や「転退院調整支援システム」を用いた退院基準を満たした患者の転院調整を実施。  
加えて本年2月9日に「宿泊転送班」を新設し、入院患者で症状が軽快・安定した患者を診療型宿泊療養施設に転送を促進し、入院期間の短縮化を図ることで効率的な病床運用に努めている。

## ●退院基準を満たした患者の転院・搬送調整

- 退院基準到達患者を受け入れる後方支援医療機関の状況
  - ・215病院・最大 1606床を確保 (R4.2月28日時点)
- 転退院調整システムを用いた転院調整の状況
  - ・システム運用開始後、第5波においては、209件の調整を実施、第6波においては現時点で139件の調整を実施。  
調整依頼件数も1月～2月にかけて大幅に増加 (表1参照)

## ●退院基準未到達者の診療型宿泊施設等への転送

- 専任の看護師を配置し、コロナ受入医療機関からの患者の転送依頼に対応、これまで50件の調整依頼を受け付け、44人が宿泊施設・自宅等療養に切替が完了 (表2参照)

【表1】大阪府転退院調整支援システムの稼働状況 (R3.7.9～R4.2.28)

	転退院サポートセンターによる調整			病院間による調整		合計
	調整済み	転院先調整中	調整後キャンセル	調整済み	転院先調整中	
7月	4		11	5		20
8月	31		22	16		69
9月	42		28	28		98
10月	6			5		11
11月	4		3	4		11
12月						
1月	14		10	2		26
2月	58	67	43	12	6	186
合計	159	67	117	72	6	421

※網掛部分は現在調整です

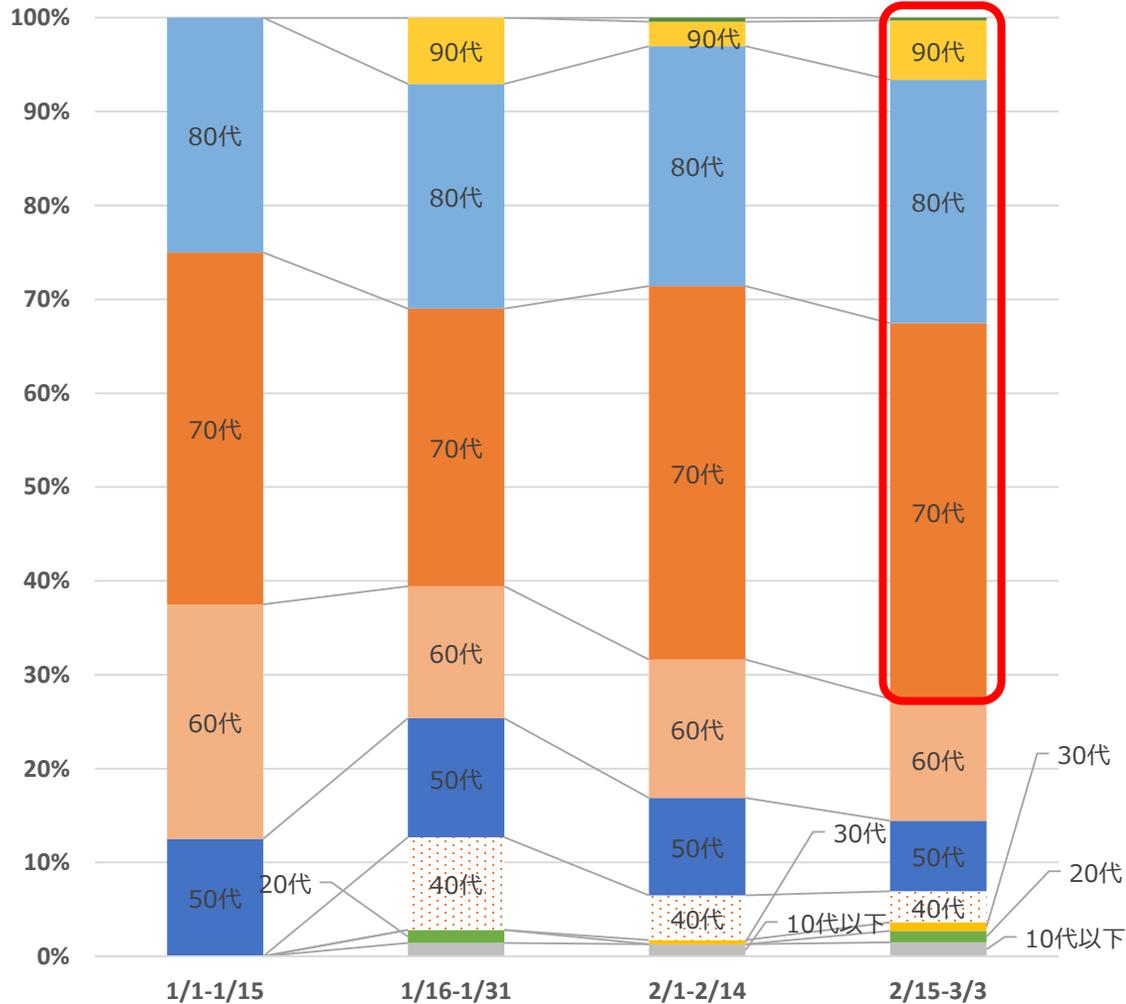
【表2】宿泊転送班の調整実績 (R4.2.9～2.28)

療養施設の種別	調整依頼数	転送完了数
診療型宿泊療養施設	26	23
スマイルホテル (臨時の医療施設)	4	2
大規模療養センター	5	4
自宅・施設	15	15
合計	50	44

# 年代別新規重症者の内訳（公表日別）（3月3日時点）

◆ 2月15日以降の約2週間における新規重症者の年代別内訳は、70代以上が占める割合が7割を超過。

年代別新規重症者の内訳割合（1/1～3/3）



	第四波 (R3.3/1～ 6/20)	第五波 (R3.6/21～ 12/16)	第六波 (R3.12/17～)
新規陽性者数 累計	55,318人	100,891人	469,775人
新規重症者数	1,735人	1,024人	644人
30代以下	61人 (3.5%)	101人 (9.9%)	19人 (3.0%)
40・50代の 割合	491人 (28.3%)	553人 (54.0%)	89人 (13.8%)
60代以上の 割合	1,183人 (68.2%)	370人 (36.1%)	536人 (83.2%)
（うち、70代 以上の割合）	768人 (44.3%)	188人 (18.4%)	447人 (69.4%)

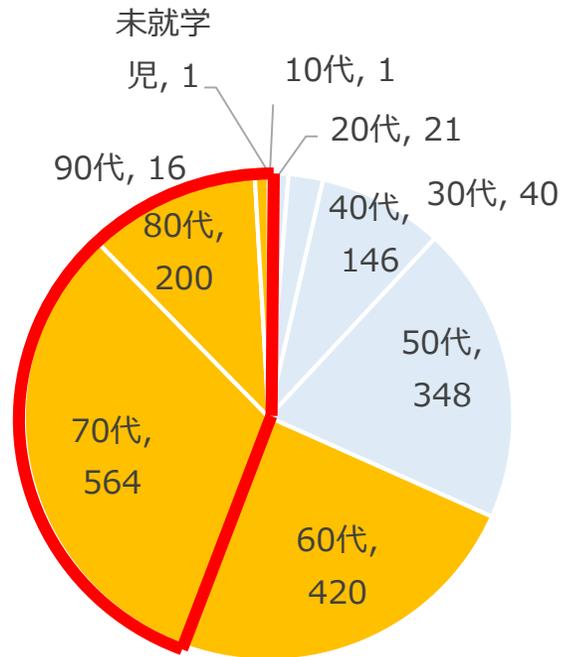
※新規重症者を公表日別に集計しているため、陽性判明日別に集計した各波の重症者数と人数が一致しない場合がある。  
 ※第六波の各年代の割合は、3月3日時点までの新規重症者数に基づく。今後、新規重症者の推移により変動。

# 重症者の年代別内訳（第四波～第六波）

◆ 第六波においては、重症者に占める70代以上の割合が7割を超過。

## 第四波

3/1～6/20

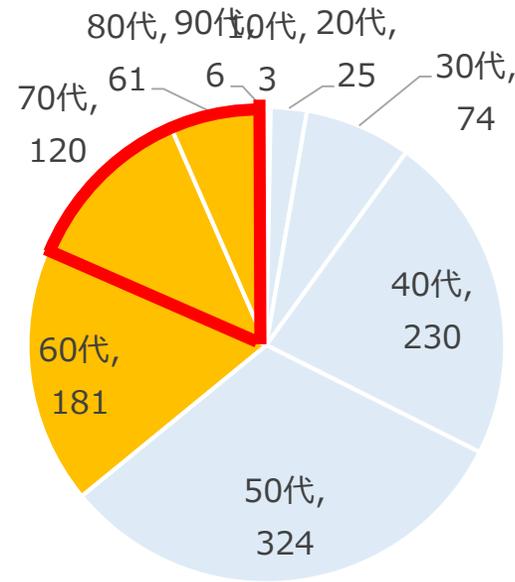


70代以上の割合：44.4%

平均：60.9歳

## 第五波

6/21～12/16

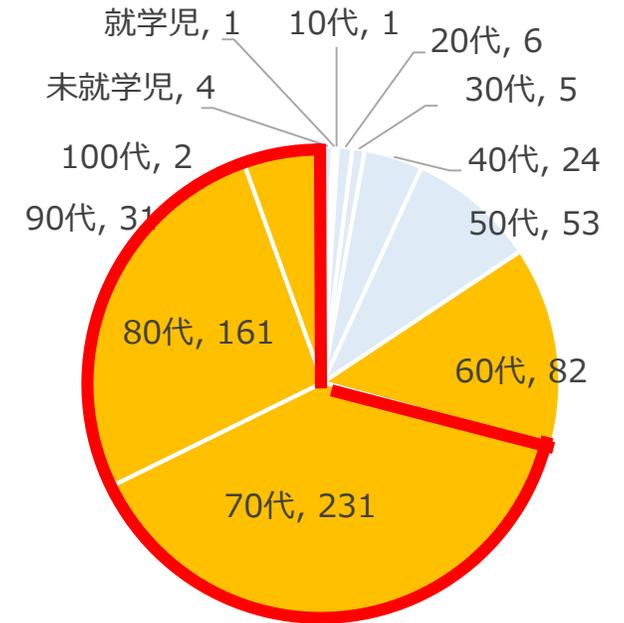


70代以上の割合：18.3%

平均：51.6歳

## 第六波

12/17～2/26

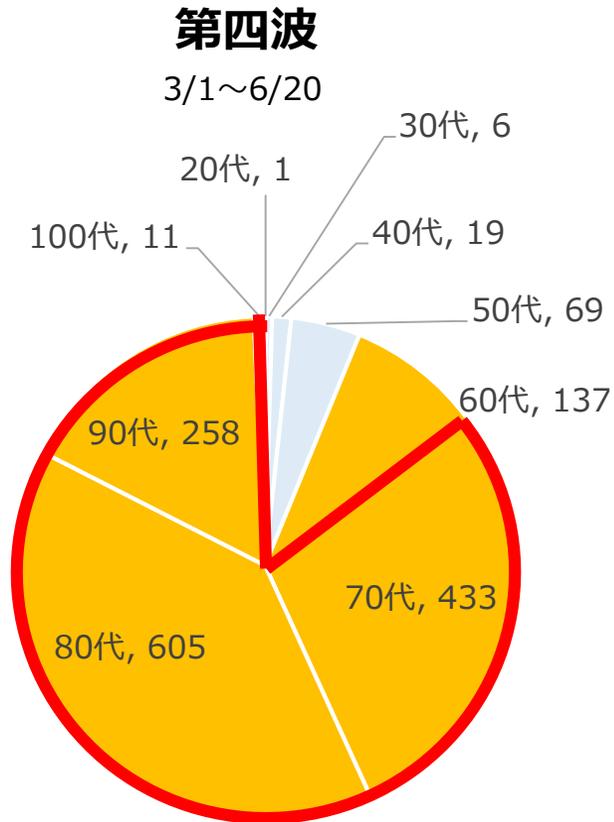


70代以上の割合：70.7%

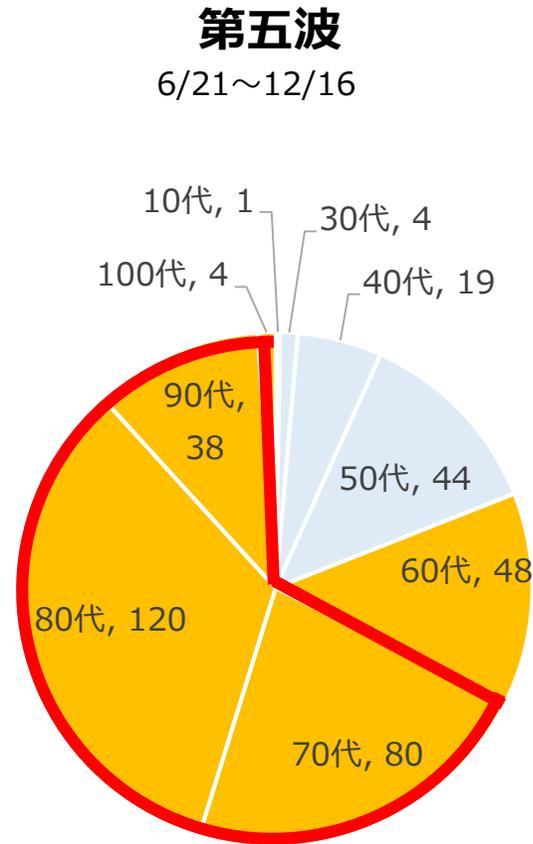
平均：68.5歳

# 死亡者の年代別内訳（第四波～第六波）

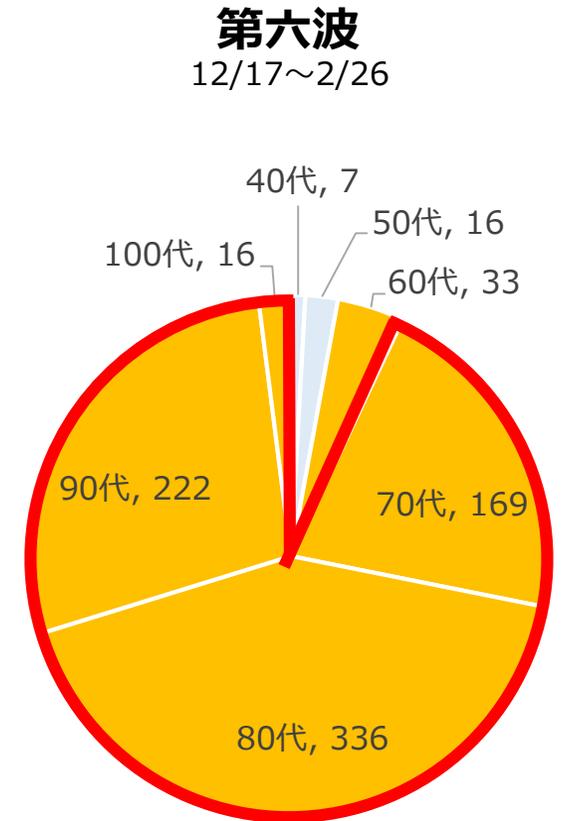
◆ 第六波においては、死亡者に占める70代以上の割合が9割を超過。



70代以上の割合：84.9%  
平均：75.2歳



70代以上の割合：67.6%  
平均：69.8歳



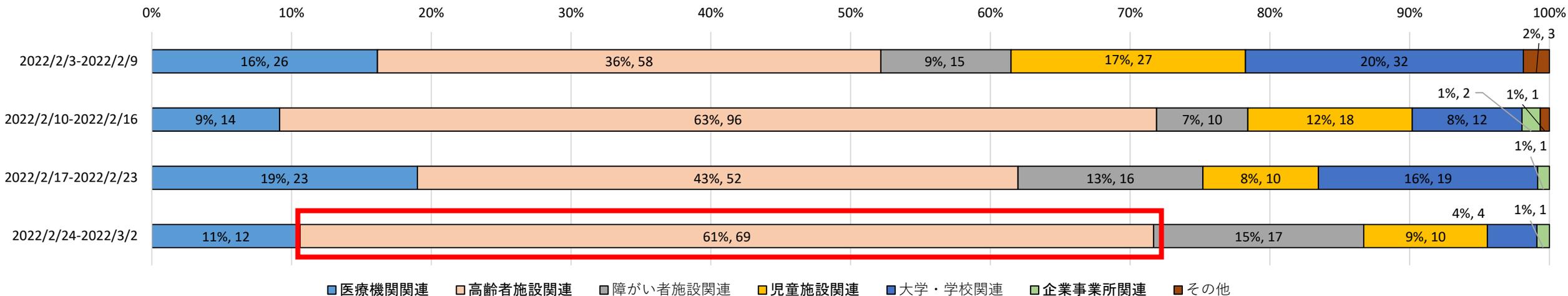
70代以上の割合：93.0%  
平均：79.3歳

## 2 高齢者施設等のクラスターの状況

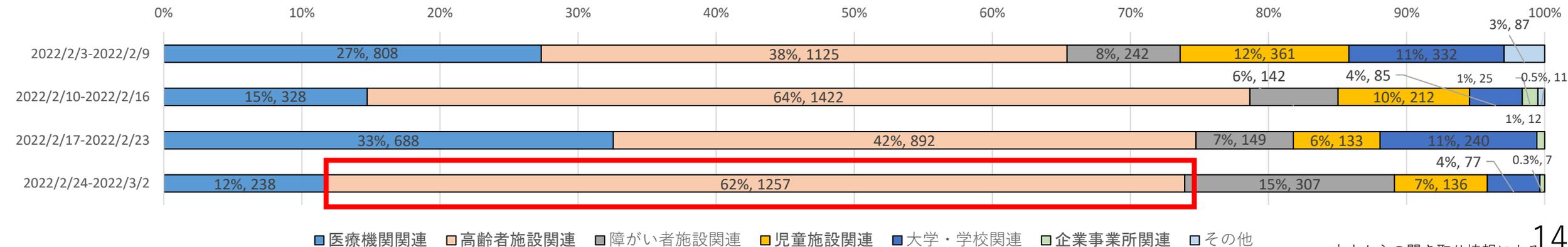
# 第六波のクラスター状況【割合】

◆ 2月中旬以降、高齢者施設関連が全クラスターに占める割合が急増し、直近1週間で施設数、陽性者数ともに6割を超過。直近1週間では、医療機関関連、施設関連で95%程度を占めている。(保健所の積極的疫学調査の対象の重点化による影響もあり) 大阪市が第六波のクラスター135件を本日まとめて公表予定のため、クラスター発生期間にそれぞれ計上。

施設数 (割合)



陽性者数 (割合)



# 第六波のクラスター状況【実数】

クラスターの施設数

クラスターの陽性者数

120

100

80

60

40

20

0



■ 2022/2/3-2022/2/9 ■ 2022/2/10-2022/2/16 ■ 2022/2/17-2022/2/23 ■ 2022/2/24-2022/3/2

1600

1400

1200

1000

800

600

400

200

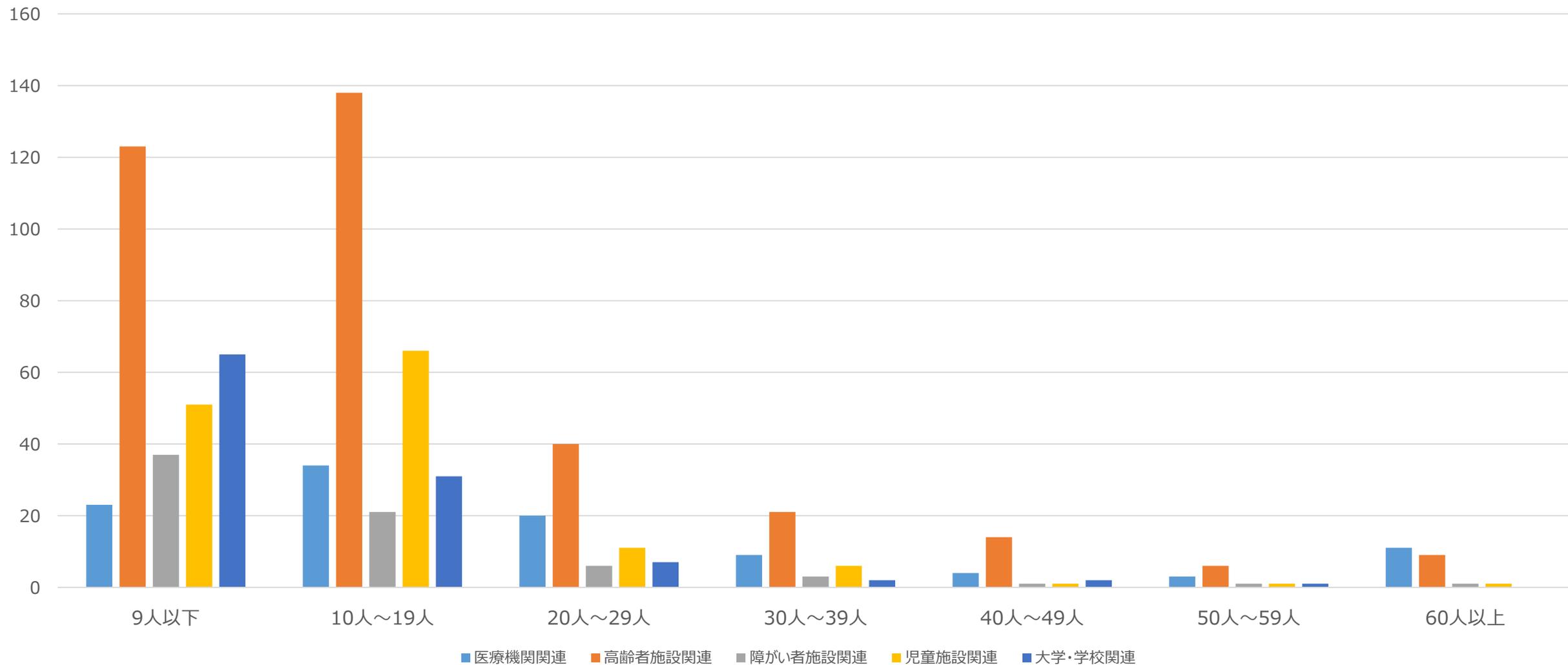
0



■ 2022/2/3-2022/2/9 ■ 2022/2/10-2022/2/16 ■ 2022/2/17-2022/2/23 ■ 2022/2/24-2022/3/2

# 第六波のクラスターの発生規模

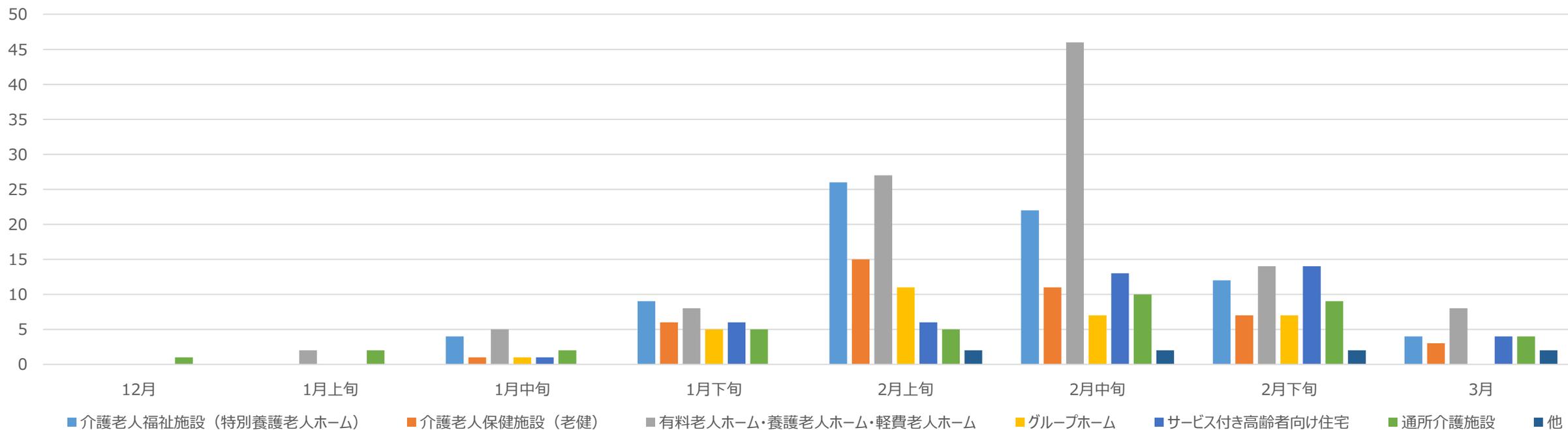
◆ 20人未満のクラスターが多いが、医療機関、高齢者施設、障がい者施設については、20人を上回るクラスターが多数発生。



# 第六波の高齢者施設の期間別・類型別クラスターの発生数

◆ 高齢者施設の類型別として、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）や有料老人ホーム・養護老人ホーム・軽費老人ホームの発生件数が比較的多い。

クラスター公表のデータから分析：3月2日時点（大阪市追加を含む）



施設種別（名称）	施設数		クラスター		陽性者数	
		（割合）	施設数	（割合）		（割合）
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	563	16.4%	77	24.6%	1863	32.9%
介護老人保健施設（老健）	229	6.7%	43	13.7%	1221	21.6%
有料老人ホーム・養護老人ホーム・軽費老人ホーム	1228	35.7%	110	35.1%	1492	26.4%
グループホーム	650	18.9%	31	9.9%	396	7.0%
サービス付き高齢者向け住宅	732	21.3%	44	14.1%	606	10.7%
他	37	1.1%	8	2.6%	84	1.5%
	3439	100.0%	313	100.0%	5662	100.0%

左記のほか、通所介護施設クラスターが38件、陽性者数431人発生

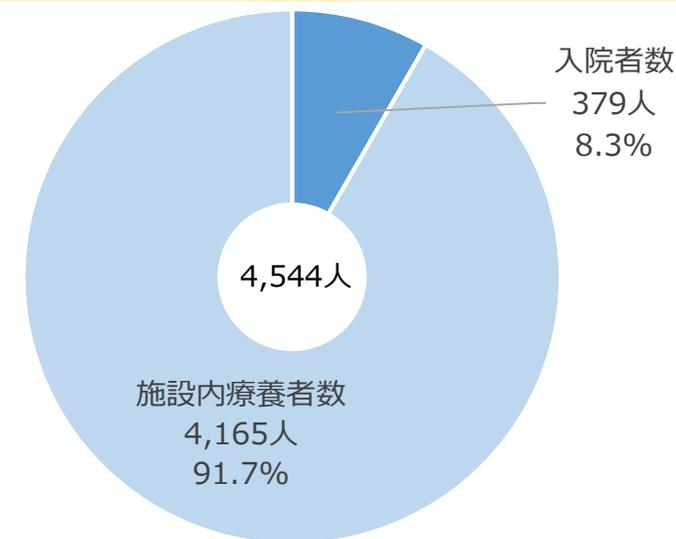
# 陽性者が複数発生している高齢者施設・障がい者施設（入所）での医療体制について

◆ 施設入所者の陽性者のうち、約9割が施設内で療養している。この施設のうち約7割強に連携医療機関等の医療介入があった。

公表クラスター以外も含めた陽性者複数発生施設データから分析：2月24日時点

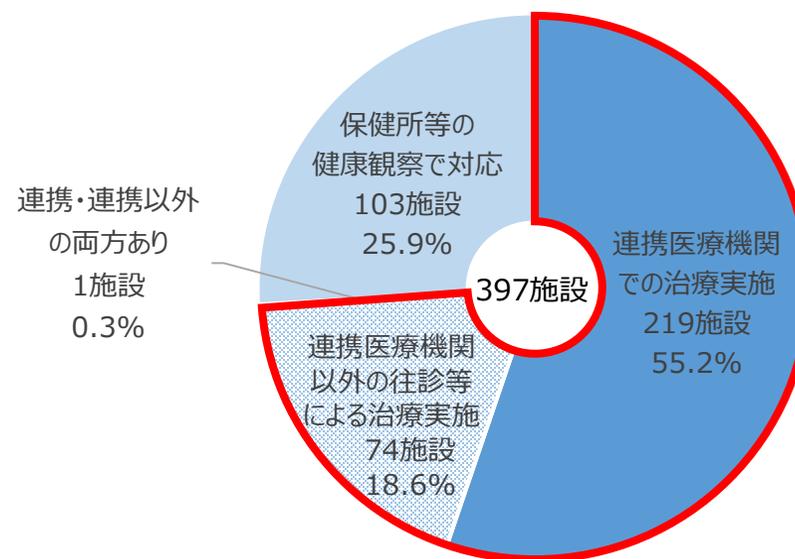
<入所者における陽性者数>

陽性者が複数発生している施設数	397施設 (うち保健所の健康観察392施設)	
	うち連携医療機関のある施設	329施設
入所者における陽性者	4,544人	
	うち入院者数	379人
	うち施設内療養者数	4,165人



<医療支援の状況>

施設数	医療支援の状況		
397施設	医療介入があった施設		
	294施設	連携医療機関での治療実施 施設数 (往診も含む)	219施設
		連携医療機関以外の往診等による治療実施 施設数	74施設
		連携医療機関、連携医療機関以外両方あり	1施設
保健所等の健康観察で対応			
103施設	健康観察で療養中 (軽症で持参薬等で対応、治療対象者がいないなど)	103施設	



※保健所からの報告により作成（令和4年2月24日時点）。感染が収束した施設は含めていない。

※府内保健所に聞き取った内容であり、記入が不十分のものも含まれている。